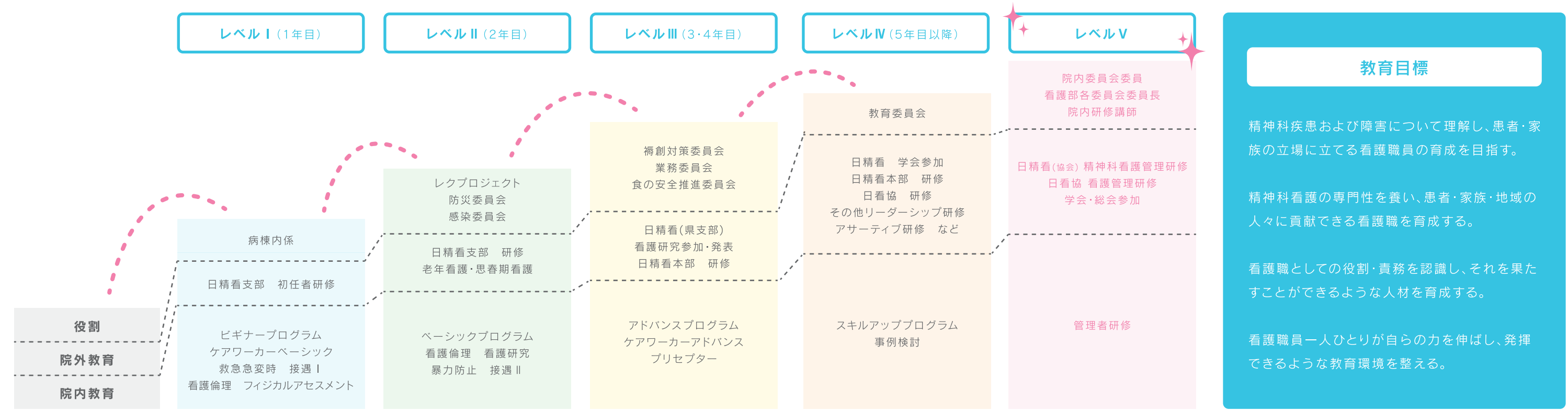


看護部 教育プログラム



看護部 教育ラダー

	到達目標	看護実践能力	人間関係能力	マネジメント力	教育
レベルⅠ (1年目)	①青山会(病院・看護部)の理念・目標を理解できる ②社会人としてのマナーを身につけることができる ③指導を受けながら基本的な業務を習得できる ④新人ナースとしての役割を意識し行動できる	①プリセプティチェックリストの項目が達成できる ②患者・家族の話を聞くことができる ③安全・安楽を意識して看護ケアを実践できる ④当院の看護基準・手順に沿ってケアが実践できる ⑤指導を受けながら看護過程を展開できる ⑥看護の優先順位を考えながら行動できる ⑦緊急時、指導を受け行動できる	①医療チームの役割が理解できる ②相手の気持ちや考えを聞いて自分の思いや考えを言葉や行動を通して伝えることができる ③看護実践や自己成長のために他者の支援を受けることができる	①上司や先輩に報告・連絡・相談ができる ②病棟の一員として自覚を持ち自分の役割・立場が理解できる ③事故発生時は、速やかに報告し、指示に基づいて患者の安全を優先した行動がとれる	①院内研修会や勉強会に主体的に参加する ②病棟機能にあった知識・技術を学習する ③新人教育プログラムを基に、指導を受けながら学習目標の設定をし取り組むことができる ④参加した研修をスタッフに伝達できる
レベルⅡ (2年目)	①チームリーダーの役割を理解し、メンバーシップを発揮することができる ②看護チームの一員としての自覚を持ち、責任のある行動がとれる ③支援を受けながら個性性を考えた受け持ち患者の看護が実践できる ④自ら研修に参加し、基礎知識を深めることができる	①患者・家族に対し共感しようと努力することができる ②受け持ちの患者の安全・安楽を守る看護ケアを実践できる ③受け持ち患者の状態をアセスメントし、報告・対処ができる ④支援を受けながら個性性を考えた受け持ち患者の看護過程が展開できる ⑤緊急時、支援を受けながら行動できる	①受け持ち患者を通し、支援を受けながら必要時医師・ケースワーカーへの報告・連絡・相談ができる ②自己の傾向を知り、自分の考えを伝えることができる	①病棟の一員としての自覚を持ち、病棟の係を担うことができる ②リスクを予測し、それを適切かつマニュアルに沿って報告することができ、かつ、支援を受けながら対処できる ③支援を受けながら他部門との連絡・相談ができる	①院内・外の研修に積極的に参加する ②専門的知識を深めるために文献を読む ③看護研究について関心を持つ ④新人指導ができる ⑤参加した研修をスタッフに伝達できる
レベルⅢ (3・4年目)	①チームリーダーの役割を理解し、リーダーシップを発揮することができる ②病棟単位における看護実践の役割モデルがとれる ③自らの判断で個性性を考えた受け持ち患者の看護が実践できる ④研修を看護実践に活かすことができる	①より良いコミュニケーション手段を選択し、患者・家族との良好なコミュニケーションがとれる ②安全・安楽を守る看護ケアを実践できる ③患者の状態をアセスメントし、報告・対処できる ④個性性を考えた受け持ち患者の看護過程が展開できる ⑤緊急時の対応ができる	①他部署・他部門(コ・メディカル部)とのコミュニケーションがとれる ②相手の表現や状況から、思いや考えを洞察することができる	①看護部委員会の委員を担うことができる ②リスクを予測し、それを適切にマニュアルに沿って報告することができ、かつ対処できる ③他部門と調整し、患者に必要なサービスを提供することができる	①プリセプターの役割を担うことができる ②1・2年目の指導ができる ③専門性を高めるために自ら学習の機会を作る ④看護研究に助言を得ながら参加する ⑤参加した研修をスタッフに伝達し、看護実践に活かすことができる
レベルⅣ (5年目以上)	①看護部の目標達成のために、病棟全体の看護の質の向上に貢献できる ②組織人(病院・看護部)としての役割を認識し、責任が果たせる ③あらゆる場面でリーダーシップを発揮できる ④患者の看護が実践でき、後輩の指導ができる ⑤精神科看護の専門性を高めるために自己研鑽ができる	①状況を適切に判断し、コミュニケーション手段を選択でき、患者・家族との良好なコミュニケーションがとれる ②安全・安楽を守る看護ケアが実践でき、指導できる ③患者の状態をアセスメントし、報告・対処でき、指導できる ④個性性を考えた看護過程が展開でき、指導できる ⑤緊急時、リーダーシップを発揮し、対応ができ、指導できる	①他部署・他部門(コ・メディカル部)とのコミュニケーションがとれ、調整がとれる ②相手の表現や状況から、思いや考えを洞察し、必要時適切な行動や支援ができる	①師長・主任不在時に、管理代行を遂行できる ②日常業務の中のリスクを予測し、防止策を立て、実践できる ③病棟業務遂行のために、業務調整が適切にできる	①テーマを持ち、看護研究に取り組むことができる ②参加した研修をスタッフに伝達し、病棟機能のレベルアップに貢献する ③自己の看護の向上のため、自ら学習の機会をつくる ④相手の状況に応じて段階的・個別的な後輩への指導ができる